

東裕之作「ボクって、イケメン？」

ママ(36歳):	中橋文	ママ友(37歳・かなえちゃんママ):	野村佳代
パパ(38歳):	中橋祐貴	地主:	東裕之
ゆうた(小学3年、おおらか):	大橋めぐみ	店員:	中尾隼人
かなえ(ゆうたのクラスメート):	中橋恵	牧師(70代):	小川政弘

●夕方 自宅

かなえ ゆうたくん、あたし、そろそろ帰るね。
ゆうた うん、じゃあまたあしたね。
ママ かなえちゃん、バイバイ。気をつけてね。
かなえ おばさん、さようなら。

ママ(ナレーション) 小学3年の、息子のゆうたは、クラスメートのかなえちゃんを時々うちに遊びに連れて来る。その日も学校の帰りに遊びに立ち寄って、1時間ほど我が家にいた。私もかなえちゃんのママとはランチを共にする仲良しだ。
その夜のこと。

●夜 自宅 夕食時

ゆうた ママ、ボク、イケメンになれるかなあ？
ママ え？ どうしたの？
ゆうた さっきかなえちゃんが、アイドルの話しててさあ。イケメンはモテていいなあって。
パパ お前はお前でいいだろ。
ゆうた ボク、大きくなったら、イケメンになれるかなあ。
ママ う〜ん、あんたはパパ似だからね、何とも言えないなあ。
パパ なんだよそれ。
ママ もうちょっとスリムになったら、イケメンになってモテるかもしれないわよ。
パパ ゆうたは食いしん坊だからなあ。
ママ パパ、きょうね、ゆうた、かなえちゃんに、貝殻細工あげちゃったんだって。
パパ この間の日曜日、家族みんなで工作教室で作ったやつか。
ゆうた うん。かなえちゃんが、「きれいだな」って言ったから、あげたんだよ。
ママ そうやって、あんたは何でもかんでも人にあげちゃうんだから！
パパ まあ、そんなに怒らなくてもいいだろう。また作ればいいし。
ママ あんた、カードのコレクションだって、ほとんど友達にあげちゃったじゃないの。
ゆうた うん。友達が「いいなあ」って言ってたから。
ママ あんたねえ、そうやって何でも人に上げてばかりいると、結局自分のものなくなっちゃうじゃない。そんなことしてると、みんなに利用されるようになって、損な人生を送ることになるよ。もう何やってんのよ！ バカじゃないの？

パパ　　おいおい、どうしたんだよ。友達が喜んでるならいいじゃないか。
ママ　　もうほんとに、二人とも親子してお人好しなんだから！
ナレーション　　どうしたんだろう、妙にイライラする。席を立て洗面所に行くと鏡を見た。……ズツとした！
そこに映っていたのは、まるで、自分の獲物に他のものを寄せ付けまいと威嚇する獣のよう
に怖い、それでいて我ながら何とも品のない、貧相な顔だった。
ママ(モノローグ)　　私、いつからこんな顔になっちゃったんだろう……？

●翌日 午前 居間

効果音　　(電話の着信音)
ナレーション　　翌日、かなえちゃんママから電話が来た。
ママ友　　(フィルター音)ねえ、今日ランチ大丈夫？ たまにはさ、違うところに行ってみない？
ママ　　うん。大丈夫。どこ行こうか？
ママ友　　(フィルター音)新しくランチバイキング始めたお店があるの。近くだから、行ってみようよ。
ママ　　行こう、行こう！
ナレーション　　何だかむしゃくしゃして、いい気晴らしになると思った。出かける時間までゆうたの部屋を片付けていると、机の上に出しっぱなしになっている一枚のカードを見つけた。それは毎日曜日、教会学校でもらってくる豆カードだった。ゆうたは、かなえちゃんに誘われて、少し前から家の近所の教会学校に通っている。かなえちゃんの家は、かなえちゃんママもパパもクリスチャンで、私もクリスマスなどで教会に誘われるんだけど、何か、生活を縛られそうで、「うん、今度ね」とか言って逃げている。かなえちゃんママを見てると、そんな窮屈じゃなさそうだってことは分かるんだけど…。
そのカードには、何やら聖書の言葉らしいものが書いてある。
ママ　　(読む)「受けるより与える ほうが幸いである」……え？ 意味 分かんない……。
あ、いけない、遅れちゃう！

●昼 ランチバイキングの店の前

効果音　　(店の前の雑踏)
ママ　　ああ、けっこう人がいるわね。
ママ友　　まだオープンしたてだから、みんな来てるのかな。
ママ　　自転車、どこ止めようか。自転車置き場、いっぱいみたいよ。
ママ友　　この辺に止めちゃおうか
ナレーション　　自転車を店の向かい側の塀のわきに置こうかどうか迷っていると、突然男の人の怒鳴り声をした。
地主　　「おい！ 何やってるんだ！ ここはうちの土地なんだよ。うちの前に自転車を止めるな！ 書いてあるだろう！」
ナレーション　　大きな屋敷の門に立っているその男の人の指先を見ると、塀の至る所に張り紙がしてある。
「ここは私有地！」「車を止めるな！」「自転車を止めるな！」
ママ　　あ、どうもすみません。
ママ友　　ごめんなさい。

ナレーション 大声が聞こえたのか、店から店員が飛び出てきた。
店員 あ、お客様、自転車どうぞこちらに止めてください。今、場所を空けますから。
ナレーション 私たちを怒鳴ったおじさんを見ると、まだこちらをにらんでいる。
地主 まったくもう！

●店内

ママ友 ああびっくりした。
ママ あんなに怒鳴らなくなっただけいいのよね。
ママ友 この辺りはね、昔から富澤家という大地主がいて、その人だわ。お店の向かいの土地はずっと富澤家の敷地なのね。
ママ あの人、ああやって一日中見張ってて、怒鳴り散らしてるのかしらねえ。
ママ友 広い土地を持つてると、何としてもそれを守っていかうとして、あんなふうになっちゃうのかなあ。
ママ まあ、そんな人ばかりじゃないと思うけど……。
ナレーション 窓から、まだあのおじさんの姿が見える。その顔を見て、ドキッとした。その表情は、ゆうべ鏡の中に見た、私の顔そのものだったのだ。
ママ友 さあ、今日は思いっきり食べちゃおう！ なんか、ムカッと来たらおなかすいちゃった！
ママ うん。そうしましょう。頭に来たら食べるに限る！
ナレーション 食事を始めてしばらくして、ふと、となりのテーブルの老夫婦を見ると、何やら様子がおかしい。周りを気にして、落ち着きがない。よく見ると、テーブルの下にビニール袋を隠して、何と、テーブルの料理をこっそり入れている。家へ持ち帰るつもりなのだろう。もちろん禁止されている行為だ。驚いて、その夫婦の顔を見て……またドキッとした。その表情も、きのう鏡の中に見た、私の顔そっくりだったのだ。
ママ友 あ〜、お腹いっぱい。元をとったかな。
ママ おいしかったわね、また来ましょう。あ、あたし、ゆうたにケーキ買って帰るわ。

●午後 帰路

ナレーション 帰り道、一人の年配の男性がホウキで道を掃いている。よく見ると息子が通っている教会の牧師さんだった。
ママ こんにちは！ ゆうたがいつもお世話になってます！
牧師 ああ、ゆうたくんのお母さん、こんにちは。
ママ こんなところをお掃除ですか？
牧師 ええ、さっきここを通ったら、誰かが時間を過ぎてからゴミを出したらしくて、カラスが突っついて散らかり放題になっていたの、片付けてたんですよ。やっと今、終わりました。
ママ でも、教会からはけっこう離れてるのに…。
牧師 まあ、こんな私でも地域のために少しでも役に立てればと、ついやってしまいます。
ママ そんな損な役回りを進んでしなくても……。
牧師 いやいや、損だなんて、考えたことはありませんよ。実は、時間も労力も人のために使うと、不思議なことに、神様はちゃんとその分、祝福、お恵みを下さるのです。人に分け与えると、自分が豊かになるんですよ。あ、説教じみたことを言ってごめんなさい。職業病でしょうかね

(笑)。ああ、お引き止めしてすみません。ではお気をつけて。

ナレーション そう語る牧師さんの顔は、何とも言えない満ち足りた笑顔だった。ゆうべ私が鏡で見た自分の顔とはぜんぜん違う。あの地主のおじさんの顔とも、ランチの隣のテーブルの老夫婦の顔とも。顔というのは、その人の心を映してしまうのかもしれない。そう言えばさっき、かなえちゃんママがこんなことを言っていた。

音楽 (ブリッジ)(回想)

ママ友 かなえがゆうたくんから貝殻細工をもらったって。ありがとうね。

ママ ああ、いいのよ

ママ友 かなえが言ってたけど、ゆうたくん、クラスのみんなから、人気があるみたいよ。

ママ へえ、そうなの？

ママ友 何だかおおらかで、いつも笑顔じゃない。それで、みんなが喜ぶことを進んでしてあげるって感じがいいみたいよ。

ママ ふ～ん、そうなの？ 私、あの子のお人好しなところが心配で、いつも「いい加減にきなさい」って叱るんだけど。

ママ友 ううん、そんなことない。今どき、ゆうた君みたいな優しい心の子っていないわよ。希少価値！

ママ そう…かなあ。

ナレーション と言いながらも、私は、我が子をちよつぱり褒めてあげたい気持ちになっていた。

●夕方 自宅

ゆうた ただいま～。

ママ おかえり。ゆうたが好きなマロンケーキあるよ。

ゆうた わあ、やったあ！

ナレーション ゆうたの豆カードのことばを思い出した。「受けるより与えるほうが幸いである」。さっきの牧師さんの声が頭に響いた。

牧師 (回想)(エコー)「人に分け与えると、自分が豊かになるんですよ」

ナレーション 私は、なんだか自分のものを守ることばかりに心が囚われていたのかもしれない。夫と息子…この家庭を、この幸せを誰にも奪われたくない、そんなことばかりを考えてきたのかもしれない。うれしそうにケーキをほおぼる息子を見て思わず言った。

ママ あんた、いい顔してるね！

ゆうた え？ それって、イケメンてこと？ ボクって、イケメン!!

ママ そういう意味じゃなくって……(ふふっと笑う)

ゆうた え？ どういうこと？

ママ (笑)な・い・しょ！

ゆうた え～～？(FO)

ナレーション その日、私は、豊かに生きるヒントを、息子から教わった気がした。すると、なぜかあの牧師さんの何とも言えない穏やかな笑顔がふっと心をよぎった。

ママ(モノローグ) 私も、あの教会で牧師さんのお話を聞いたら、少しはいい顔になるのかな？

ナレーション 心の中で、私はぼそりとそうつぶやいていた。

《完》